国立国語研究所学術情報リポジトリ

徳之島浅間方言のアクセント資料(3)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-01-23 キーワード (Ja): キーワード (En): Asama dialect, accent-class list, two-mora nouns, accent data 作成者: 上野, 善道, UWANO, Zendo メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00000858

国立国語研究所論集 (NINJAL Research Papers) 12: 139–161 (2017)
ISSN: 2186-134X print/2186-1358 online

徳之島浅間方言のアクセント資料（3）

上野善道

東京大学名誉教授／国立国語研究所 理論・構造研究系 客員教授［–2015.03］／
国立国語研究所 共同研究員

要旨

五十嵐陽介（2016）が提案した「日琉語類別語彙リスト」にある 2 拍名詞 641 語について，アクセント比較研究の推進を目的として，奄美徳之島浅間方言のアクセント資料を提示する *。

キーワード：徳之島浅間方言，日琉語類別語彙リスト，2 拍名詞，アクセント資料

1. はじめに

日本語諸方言のアクセント研究が盛んになってきている。記述研究と比較研究の両面においてそれが目立つが，その中でも特に注目されるのが本土諸方言と琉球諸方言の比較研究である。2016 年 5 月 15 日に学習院大学で開かれた日本語学会のワークショップ「「日本祖語について」を超えて」もその企画の一つであった（『日本語学会 2016 年度春季大会予稿集』を参照）。服部四郎の先駆的研究「日本祖語について」をさらに推し進めるべく企画されたワークショップのパネリストは，平子達也，五十嵐陽介，トマ・ペラールの若手 3 名で，早田輝洋と私がコメンテーターを務めた。その成果として，五十嵐陽介による「日琉語類別語彙リスト」が作成され，ネット上に公開され始めている。これは従来の金田一語彙を中心とした枠組みを大きく超えて進展する可能性をもつものと考えられる。その発展のためには具体的なアクセントデータの提示とそれらに基づく実証的な比較研究が不可欠である。その考えに立って，それらの語彙リストに対する徳之島浅間方言のアクセントデータをまず提示するのが本稿の目的である。

2. 資料

調査に際して利用したのは，2 拍名詞のリストである（1）である。内容については，五十嵐陽介（2016）を参照されたい。

（1） 五十嵐陽介「日琉語類別語彙（2016 年 5 月 15 日版）」NichiryuRuibetsugoi_20160515.xlsx
http://researchmap.jp/mu6a3zx1a-1856949/#_1856949

* 今回も長時間に渡ってご教示下さった岡村隆博先生に厚く御礼を申し上げる。本報告は，2016 年度 JSPS 科学研究費 16K02619 による研究成果の一部である。また，同時に，国立国語研究所の共同研究プロジェクト「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」（プロジェクトリーダー：窪薗晴夫）の研究成果の一部をなすものでもある。

2016 年 7 月現在では，1 拍名詞，3 拍名詞にまで拡張された改訂版が出ており，ファイル名も変更されて（2）のようになっている。2 拍名詞の部分についても，私のコメントなども反映されている。ただし，私の調査は 2016 年 6 月 4 日～ 7 日に行なったものなので，本稿はすべて（1）に基づいている。いずれそのうちに（2）に基づく調査もし，その結果を報告したいと考えている。

（2） 五十嵐陽介「日琉語類別語彙（2016 年 7 月 1 日版）」JR-COGNATES_ver20160701.xlsx
http://researchmap.jp/mueg4df1c-1856949/#_1856949（2016.07.31 現在）

徳之島浅間方言調査における話者は，これまでと同じ（3）の方である。

（3） 岡村隆博氏　1936 年浅間生まれ，浅間育ち，両親・祖父母とも浅間出身

（1）の語彙リスト 641 項目の配列順のまま，一切手を加えることなく，各々に対する浅間方言の語形を掲載する。ただし，元のファイルは長大であり，そのまま印刷するだけで規定枚数をはるかにオーバーしてしまうので，やむを得ず，その中から，「ID 番号，類（金田一の類），類（日琉語類別語彙），同源語ラベル」のみを抜き出し，その横に浅間方言の語形を加える形にした。省いた箇所はほぼ復元可能であるが，「意味」の欄だけは同語形で方言によって意味が異なる場合の情報なども含まれており，私の調査にも関係する部分なので残したかったものの，紙幅の関係で割愛せざるを得なかった。詳しいことは原典に当たっていただきたい。

浅間方言の欄の金田一語彙については，40 年近く前の拙論（1977）で発表してある。今回はそれを基本的にそのまま転記したが，表記は現在の方式である以下の（4）～（6）に改め，かつ誤りが見つかった箇所は訂正してある。従って，両者で内容が食い違っている箇所は，本稿のものが現在の私の捉え方となる。また，必要に応じて補充調査をし，関連項目をあれこれ追加してある。

なお，6 月の調査では，先行研究に含まれていた漢語語彙のアクセントも調べたが，それについては，1 拍名詞，3 拍名詞とともに，機会を改めて発表することにしたい。

3. 記号類

本稿の記号は，これまで『国立国語研究所論集』に発表してきた拙論と基本的に変わりはないが，語末に付す音調記号は今回省略した（アクセント体系の解釈については，上野 2016 を参照）。その記号の一覧を（4）～（6）にまとめて掲げる。

（4） 状況符号など

<n>：新。<m>：稀。<o>：古（古老が使った古い形）。

(OK)：対応から見て疑問に思われるかもしれないが，これで可。入力ミスにあらず。

x：答えが得られず（対応形も，方言での言い方も思いつかない）。以前の「NR」に相当する。

< >（語形の直後）：対応語形。例：櫛 sja:ki[: < サバキ > は捌き櫛のサバキに対応する。

ナシ，イナイ：物そのものや動物などが徳之島浅間にはない，いない意。多くの場合，方言形がなく，借用語である。比較研究にとり，借用語の認定は重要なポイントとなる。

(5)　主な語音記号（これら以外は，ほぼローマ字通りの発音）

P, T, C, K, M, N：喉頭（緊張）化音（無気音）で，[p’], [t’], [ts’](～ [ʧ’]), [k’], [m’], [n’] など。形態素の頭で非喉頭化音と対立する。それ以外では，話者の内省ではどちらでも気にならないという。主として外来語に現れるパ行音は P で出, 有気音の p はごく小数例しかない（ハ行音は h）。

t, c, k：非喉頭化音（有気音）で，[tʰ], [kʰ] など。形態素の頭以外ではこちらに統一した。

C, c：チ・ツとタ行拗音の破擦音子音。Cji（チ），Cu（ツ）など。チとツは，形態素の頭以外でもむしろ喉頭化音に聞こえるが，非喉頭化音表記に統一した。なお，有声音においては，摩擦音（s）と破擦音（C, c）の対立はなく，z で表わす。

’：声門閉鎖音 [ʔ] で，この有無による対立がある。’iN（犬）と iN（縁）など。ただし，声門閉鎖音のない [i] は，その緩やかな入りわたりに軽い接近音を伴った [ji] で出るので，これを明示的に ji で示し, jiN と表記する。’i と ji でほぼ同じ長さに発音される。’utu:（音）と wutu:（夫）の ’u と wu も同様である。半母音の w, j の前でも ’ の有無による対立がある。

F：両唇摩擦音の [ɸ]。ただし，Fu は hu にまとめてある。

N：撥音。本来は喉頭化したナ行子音と区別して小さな大文字（small capital）を当てるべきであるが，入力の便宜上，同じ N とする。直後に母音が続くか（ナ行）否か（撥音）の位置で区別される。ただし，この撥音も形態素の頭に立つときはそれだけで 1 音節をなし，かつ，喉頭化の有無による対立をもつ（その場合でも，直後に母音が続くことはない）。その長短の対立もある。なお, できるだけ簡略音声表記を意図して, 長音は「:」で示し, 促音は後続子音を（小文字で）繰り返して表記する。

j：口蓋化の印で，sji（シ），nji（ニ），hji（ヒ）など。

I, E：中舌母音の [ɨ], [ɜ]。他に，a, i, u, e, o の 7 母音体系。ただし，e, o の出現は限られている。シとス，チとツ，およびそれらの有声音はそれぞれ sI，CI（cI）と zI で合流している。しかし，nji と nI は対立する。一方，sjI，CjI (cjI)，zjI の結合がある。

(6)　音調記号（◯は任意の拍）

[◯：◯の直前の上昇（上げ）（従来の拙文の「 と同じ）

◯]：◯の直後の下降（下げ）（従来の拙文の 」ないし ˥ と同じ）

%◯：◯の直前の半上昇（「髪の毛」のような 2 単位形の 1 語に現われる）

参照文献

五十嵐陽介（2016）「アクセント型の対応に基づいて日琉祖語を再建するための語彙リスト「日琉語類別語彙」」『日本語学会 2016 年度春季大会予稿集』233–238.

上野善道（1977）「徳之島浅間方言のアクセント（1）」岩手国語学会国語学論集刊行会『小松代融一教授退職・嶋稔教授退官記念 国語学論集』220–188 [=(1)–(33)].

上野善道（2016）「徳之島浅間方言の名詞のアクセント体系」田窪行則・ジョン ホイットマン・平子達也（編）『琉球諸語と古代日本語 日琉祖語の再建に向けて』209–234. 東京：くろしお出版.

［追記］その後，五十嵐の日琉語類別語彙は以下の版が出ている。

2016 年 9 月 6 日版
JR-COGNATES_ver20160906.xlsx
http://researchmap.jp/mu2f94evo-1856949/#_1856949

2016 年 9 月 22 日版
JR-COGNATES_ver20160922(ver.4).xlsx
http://researchmap.jp/mu6jgh90m-1856949/#_1856949

Accent Data from the Asama Dialect in Tokunoshima, Amami: Part 3

UWANO Zendo

Emeritus Professor, The University of Tokyo /
Invited Professor, Department of Linguistic Theory and Structure, NINJAL [–2015.03] /
Project Collaborator, NINJAL

Abstract
With a view to promoting comparative study of Japanese and Ryukyuan, this paper presents the accent data from the Asama dialect in Ryukyuan Tokunoshima with particular reference to 641 two-mora nouns in the accent-class list of Proto-Japanese-Ryukyuan proposed by Igarashi (2016).

Key words: Asama dialect, accent-class list, two-mora nouns, accent data

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
1	1	1A	灰汁（アク）	’aku:（灰そのもの）, 液は<m>[hai]zIruか’aku:]zIruか. 野菜のアクはbuku[:（泡ぶく）と言う.
2	1	1A	飴（アメ）	’amI:
3	1	1A	蟻（アリ）	’ami:, [’aN]zjo
4	1	1A	烏賊（イカ）	’ikja:
5	1	1A	魚（ウオ）	’ju: <イヨ>. サカナと言えば[saka:]na.
6	1	1A	牛（ウシ）	’usI:（干支の「丑」も）
7	1	1A	梅（ウメ）	’umI: 元はナシ.
8	1	1A	枝（エダ）	[juda:
9	1	1A	海老（エビ）	’ibi:
10	1	1A	効（カイ）	[kai
11	1	1A	顔（カオ）	CIra[: <ツラ>
12	1	1A	篭（カゴ）	tI:[ruなど.「駕籠」はナシ.
13	1	1A	風（カゼ）	[kazjI:
14	1	1A	仮名（カナ）	[kana:
15	1	1A	蟹（カニ）	[gaN
16	1	1A	金（カネ）	[kanI:, [kanI:]Kugi <金釘>, [kana:]zIcI <金槌>.「金物」の対応形ナシ.
17	1	1A	鐘（カネ）	<m>[kanI:. 大きな「鐘」ナシ.
18	1	1A	株（カブ）	nIgu[I（根）, bu:[sju（木の株. 株分けの対象）. [Cju:bu:]sju, [Ta:]busju, [mibu:]sju, [jubu:]sju（1株, 2株, …と数える）.「蕪」は<n>ka:[bu ナシ.
19	1	1A	壁（カベ）	[kubI:
20	1	1A	釜（カマ）	[kama:（かまどの意）, [haga:]ma（飯炊き釜）
21	1	1A	粥（カユ）	ka[i, kai[baN
22	1	1A	傷（キズ）	[KizI:
23	1	1A	桐（キリ）	x ナシ.
24	1	1A	霧（キリ）	[kasI:]mi <霞>かKumo[: <雲>と言う.
25	1	1A	釘（クギ）	[Kugi:
26	1	1A	口（クチ）	[kucI:
27	1	1A	国（クニ）	<n>[Kunji:. 通常は集落, 村落が話題になり, sIma[: <島>が普通.
28	1	1A	首（クビ）	[Kui
29	1	1A	鍬（クワ）	to:gwE[: <唐鍬>
30	1	1A	腰（コシ）	[kusI:（後ろの意も）
31	1	1A	此れ（コレ）	[kurI:
32	1	1A	先（サキ）	[sjaki:（ペンの先など）.「崎」も言うが, 地名にはナシ. 民謡には[misja:]ki が出る.
33	1	1A	酒（サケ）	[sjakI:（焼酎をさすのが普通）
34	1	1A	里（サト）	x（恋人の意味でも不使）.「里に帰る」などではsIma[: <島>.
35	1	1A	鯖（サバ）	<n>[sjaba:（新しく缶詰などで）

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
36	1	1A	鮫（サメ）	[sjaba: イナイ. [sjamI: はかゆい皮膚病の名前にある.
37	1	1A	皿（サラ）	[sjara:
38	1	1A	品（シナ）	[sIna:]muN <品物>
39	1	1A	城（シロ）	x ナシ. なお, 貝の名前にgusIkuN[gE: がある.
40	1	1A	皺（シワ）	sIwa[:
41	1	1A	末（スエ）	['a:]tu <後>, ['uwai <終わり>など
42	1	1A	鋤（スキ）	jizja[i
43	1	1A	杉（スギ）	<n>jamatu[sI:]gi, jamatu[sI:]gI <大和～> 本土から来た新しいもの. [sI:]gI, [sI:]giは椎木の意.
44	1	1A	裾（スソ）	[sjusju:
45	1	1A	底（ソコ）	[sjuku:
46	1	1A	袖（ソデ）	[sjudI:
47	1	1A	鷹（タカ）	[ta:
48	1	1A	滝（タキ）	[taki:
49	1	1A	竹（タケ）	[dE:（総称）, [gara:（孟宗竹）
50	1	1A	龍（タツ）	[tacI:（普通は十二支の「辰」で）
51	1	1A	棚（タナ）	[tana:
52	1	1A	誰（ダレ）	[taru:
53	1	1A	塵（チリ）	gumi[: <ゴミ>, gumi'a:[ku]ta. 目に入るのはmINCI:[rI <目の塵>, まつ毛はmINCIrI[kE:]sI <目の塵返し>と言うが, 塵単独では不使.
54	1	1A	壷（ツボ）	ka:[mI <甕>. 指圧のツボは[CIbu:.
55	1	1A	爪（ツメ）	[CImI:
56	1	1A	釣り（ツリ）	[CIrI:（釣り針の意が主）. 釣り自体は, 海の場合['ju:CIrI:, ['ju:Kwa:sI: <魚食わせ>, 川はhunaCI[rI: <鮒釣り>など. 釣瓶は深井戸ができてからで, <n>CIru:[be (OK).
57	1	1A	床（トコ）	[nIdu:]ku <寝床>. [tuku:（床の間. ただし, ある家は稀だった）
58	1	1A	虎（トラ）	[tura: イナイ. 普通は十二支の「寅」で.
59	1	1A	鳥（トリ）	[tui 鶏の意が普通. 干支の「酉」も. 一般の鳥は区別するときは[tubu:]tui <飛ぶ鳥>.
60	1	1A	西（ニシ）	['irI: <入る辺？>. [nIsI: は北の意.
61	1	1A	庭（ニワ）	jaNmE[: <家の前>, 'aro[:（外. 畑は言わない）
62	1	1A	布（ヌノ）	[nono: (OK)
63	1	1A	軒（ノキ）	'amada[i <雨垂り>
64	1	1A	灰（ハイ）	['aku: <アク>. [FE: は石灰の意.
65	1	1A	蝿（ハエ）	['o:]bai <青蠅>. 総称にも家バエにも.
66	1	1A	箱（ハコ）	[haku:. あるいは新しい形で, 昔は[sIcI: <櫃>だったか.
67	1	1A	端（ハシ）	['aN]zja.「外れ」の意なら, <n>[haNzjI:.
68	1	1A	傍（ハタ）	x「ほとり, 近く」は'ata[i,「側」はsjuba[:, 縁側などの縁は[jiN.
69	1	1A	蜂（ハチ）	[hacI:
70	1	1A	鼻（ハナ）	[hana:

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
71	1	1A	羽根（ハネ）	[hanI:（飛行機の翼も言えるが新）
72	1	1A	稗（ヒエ）	[hui (OK)
73	1	1A	髭（ヒゲ）	[sIgi: (OK). 手足の毛もさすが, kara:[zI]N %kI:（髪の毛）, ku:[gI（陰毛）は含まない. ひげ根も言う.
74	1	1A	膝（ヒザ）	[CIN]sja, [CIN]sjazjara（ひざ皿）
75	1	1A	暇（ヒマ）	[FIma:
76	1	1A	笛（フエ）	[hui
77	1	1A	鱶（フカ）	[sjaba: イナイ.
78	1	1A	藤（フジ）	x ナシ.
79	1	1A	蓋（フタ）	[huta:
80	1	1A	札（フダ）	[huda:
81	1	1A	筆（フデ）	[hudI:
82	1	1A	臍（ヘソ）	[husju: <ホソ>
83	1	1A	星（ホシ）	[husI:
84	1	1A	舞い（マイ）	[wudui <ヲドリ>. Cf. [tImai <手舞い>は闘牛で勝った時に踊る.
85	1	1A	的（マト）	<n>[mato:. mI'a:[tI <目当て>とも言うか.
86	1	1A	右（ミギ）	[njigi:]rI, [nIgi:]rI
87	1	1A	水（ミズ）	[mIzI: (OK)
88	1	1A	道（ミチ）	[micI:
89	1	1A	峰（ミネ）	x「頂」なら[CIzI:.
90	1	1A	宮（ミヤ）	x kamisja[ma: <神様>か.
91	1	1A	虫（ムシ）	[musI: 婉曲的に[mazjuN（ハブ）をさすことも（言霊思想で, 直接mazjuNに咬まれたとは言わず）. naga:mu[sI: <長虫>とも.
92	1	1A	棟（ムネ）	[nI:
93	1	1A	籾（モミ）	[mumi:
94	1	1A	桃（モモ）	[mu:
95	1	1A	森（モリ）	[mui（小高く盛り上っている所で「盛」. 普通は木があるが無くても可. 神様とは関係ない）
96	1	1A	槍（ヤリ）	[jai
97	1	1A	床（ユカ）	[juka: 昔は竹で作った. Cf. 'icjaju[ka: <板床>.「廊下」はナシ. 奥の小部屋は[kuzja:.
98	1	1A	百合（ユリ）	[jui
99	1	1A	宵（ヨイ）	[ha:]junE <赤（明）夜ナベ？>
100	1	1A	横（ヨコ）	[juku:
101	1	1A	嫁（ヨメ）	[jumI:
102	1	1B	艶（ツヤ）	x
103	1	1B	真似（マネ）	[manI:
104	1	1C	姉（アネ）	['a:]ka
105	1	1C	柿（カキ）	ka:[ki 元はナシ.

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
106	1	1C	鈴（スズ）	[sIzI:
107	1	1X	甥（オイ）	mIk[Kwa <兄の子？姪子？>. 姪も同じ.
108	1	1X	瘡（カサ）	[kasja:（瘡蓋の意）. 腫れ物はnIbu:[tu.
109	1	1X	君（キミ）	['ja:（対等以下の相手に）
110	2	2A	痣（アザ）	['azja:（ホクロの意）.「痣」は特に言葉ナシ.
111	2	2A	石（イシ）	['isI:
112	2	2A	岩（イワ）	['isI:
113	2	2A	歌（ウタ）	['uta:
114	2	2A	音（オト）	['utu:
115	2	xA	垣（カキ）	[kaki:（竹の垣根）, 'isIga:[ki <石垣>, KirI'isI[ga:]ki <切り石垣>（珊瑚を切って城の石垣状に積み上げたもの）. 塀は作らない.
116	2	2A	型（カタ）	[kata:（菓子用の木型が普通. 絵は言わない）, sIga:[ta <姿>
117	2	2A	紙（カミ）	[kabi: (OK)
118	2	2A	殻（カラ）	南京豆のカラなどはku[:, モミガラはsIku:[hu.
119	2	2A	川（カワ）	[ko: （井戸の意）. 泉は'izju[N（浅井戸で, 掘るほどにあらず）, [CIN]gjo <積み川？>（深井戸）.「川」を意味する単語ナシ.
120	2	2A	頃（コロ）	単独ではなく, -guru:の形で使う.
121	2	xA	下（シモ）	[sju: （台所の意）. 炊事場は[sjuNja: <下の家>, 居間は['wINja: <上の家> と言う（別棟になっている場合）.
122	2	xA	旅（タビ）	[tabi:. 本土に数十年行っていても, 戻る前提で「旅に行っている」と言う.
123	2	2A	度（タビ）	x [Cju:kEi <ヒトカヘリ>（1回）などを使う.
124	2	2A	為（タメ）	単独ではなく, -tamI:の形で使う.
125	2	xA	蔦（ツタ）	x ナシ.「カズラ」はkaN[zjaで, 臭いFE:sIrI[kaN]zja <屁ひりかずら> もある.
126	2	2A	褄（ツマ）	[CIma:
127	2	2A	弦（ツル）	[CIru:（三味線[sjami:]sjINのをさす）.「蔓」は[CIru:と言うかもしれないが, tI[: <手>が普通. 三味線は[sjaN]sINで, [sjaN]sIru と言う人も.
128	2	2A	夏（ナツ）	[nacI:
129	2	2A	橋（ハシ）	[hasI:（梯子もさす）
130	2	2A	旗（ハタ）	[hata:
131	2	2A	機（ハタ）	hato[N（機織り機の意）
132	2	2A	肘（ヒジ）	[FIzI:
133	2	xA	昼（ヒル）	[sIru:. Cf. [Cja:]ru（一日中, 終日）.
134	2	2A	冬（フユ）	[huju:
135	2	2A	胸（ムネ）	[nI:, [munI:
136	2	2A	村（ムラ）	[mura:（周辺から見た, 村落の中心街をさす）
137	2	2A	雪（ユキ）	[juki:. 降らないが,「霰」'ararE[:は降る（菓子には言わない）.
138	2	2A	余所（ヨソ）	[CjuNsIma: <人の島>（他村）, huka[:（他の物の意. 集落には言わず）

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
139	2	xB	杭（クイ）	[Kui
140	2	2B	町（マチ）	<n>[macI:
141	2	xX	蝉（セミ）	[CI:]ja（他集落ではアシャシャなども）
142	3	3A	明日（アス）	’acja[: <アシタ>
143	3	3A	撥（バチ）	bacI[:（三味線の方で, 太鼓の方には言わない）
144	3	3A	枡（マス）	[CI:]ga.「枡目」は言わない. 田の区画を数えるときには, [Cju:ma:]sI, [Ta:]masI, [mima:]sI（1区画, 2区画, …）と言う. おそらく収穫量の「枡」から.
145	3	3B	垢（アカ）	['a:
146	3	3B	足（アシ）	sInI[:（脚と足を含めた全体）. 豚の足も. 机の足には言わない.
147	3	3B	穴（アナ）	mI[: <目>
148	3	3B	網（アミ）	’ami[:
149	3	3B	綾（アヤ）	’aja[:
150	3	3B	泡（アワ）	buku[:（野菜のアクもさす）, ['o:buku: <泡ぶく>
151	3	3B	池（イケ）	’ikI[:（大きくて立派な池の意）浅間にはナシ. あるのは小さな水ためのようなものでkumu[i <コモリ>と言う.
152	3	3B	犬（イヌ）	’i[N（干支の「戌」も）
153	3	3B	芋（イモ）	x サツマイモはhaNzI[N <甘蔗？>, イモ類の総称はナシ.
154	3	3B	色（イロ）	’iru[:
155	3	3B	蛆（ウジ）	’uzI[:
156	3	3B	腕（ウデ）	’udI[: だが, 普通はtI[: <手>.
157	3	3B	畝（ウネ）	’unI[:
158	3	3B	馬（ウマ）	[Ma:（干支の「午」も）
159	3	3B	膿（ウミ）	’umi[:
160	3	3B	裏（ウラ）	’ura[:
161	3	3B	鬼（オニ）	’unji[:
162	3	3B	親（オヤ）	’uja[:
163	3	3B	貝（カイ）	mja[: <ミナ>
164	3	3B	勝ち（カチ）	kacI[:
165	3	3B	皮（カワ）	ko[:
166	3	3B	革（カワ）	ko[:
167	3	3B	菊（キク）	kiku[:
168	3	3B	岸（キシ）	[koNbucI: <川の淵>など
169	3	3B	肝（キモ）	Kimu[:（豚の肝臓や人の心の意）
170	3	3B	際（キワ）	['aN]zja.「その時」は['uNdukiN.
171	3	3B	茎（クキ）	x
172	3	3B	草（クサ）	kusja[:
173	3	3B	櫛（クシ）	sja:ki[: <サバキ>（普通の捌き櫛）, KusI[:は虱取り用の櫛.
174	3	3B	糞（クソ）	kusju[:. 人糞は特に['N:]nja.
175	3	3B	靴（クツ）	<n>KuzI[: (OK). 昔は履かず, 裸足だった. 高校時代にズックで使うように.「草鞋」は[sjaba:.

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
176	3	3B	組（クミ）	Kumi[:
177	3	3B	雲（クモ）	Kumo[:
178	3	3B	倉（クラ）	Kura[:. takagu[ra:（高倉）
179	3	3B	事（コト）	単独では使わず, -kutu:の形で使う. 重大事は['u:gutu:か.
180	3	3B	米（コメ）	kumI[:. kumIdo:[ra（米俵）
181	3	3B	竿（サオ）	[gara:]zjo（[gara:は唐竹, 孟宗竹で, -zjoが竿か）. 昔は生えている木に掛けて干した. 陰茎の意味は聞けば分かるが, mara[:と言う.
182	3	3B	坂（サカ）	[sIra: <ヒラ>
183	3	3B	錆（サビ）	sjabi[:
184	3	3B	塩（シオ）	ma:[sju <真塩>. 塩味はmasju'a[zI:, しょっぱいはsjubE:[hai, sjubE:[haN（形容詞）
185	3	3B	潮（シオ）	sju[:（～の満ち干, 流れ）, 'usju[:（桶やバケツに汲んできて洗うために使う潮）
186	3	3B	舌（シタ）	sIba[:（OK）
187	3	3B	島（シマ）	sIma[:（集落, 出身地の意味でよく使う）
188	3	3B	標（シメ）	x（注連縄ナシ）.「〆」を言えばsIma[i か. 最後にto:raN[ku:（俵の皮, 殻）を付けて俵を括ることをsImaju[N と言う.
189	3	3B	脛（スネ）	sInI[:（脚と足を含めた全体をさす）. 豚の足も.
190	3	3B	炭（スミ）	sImi[:（木炭のみ. 石炭はなかった）
191	3	3B	墨（スミ）	sImi[:. Cf. 烏賊のスミはma:[da. ma:da[zI:]ru（烏賊スミ汁）.
192	3	3B	丈（タケ）	tE[:（背丈）
193	3	3B	玉（タマ）	tama[:
194	3	3B	月（ツキ）	cIki[:（天体も暦も）.「お月様」はcIkkjuga[na:]sI.
195	3	3B	綱（ツナ）	[mjo: <荷縄？>（縒り合わせた太い縄）, CIna[:（手で綯える程度のもので, これを縒り合わせる）, no[: <縄>（縒り合わせているが, 釣り用で細い）
196	3	3B	角（ツノ）	CIno[:
197	3	3B	面（ツラ）	CIra[:（柱や板の面も）
198	3	3B	時（トキ）	単独ではなく, -duki:の形で用いる.
199	3	3B	毒（ドク）	duku[:
200	3	3B	年（トシ）	tusI[:
201	3	3B	波（ナミ）	nami[:
202	3	3B	縄（ナワ）	CIna[: <綱>, no[: → 綱を参照.
203	3	3B	糠（ヌカ）	nuka[:
204	3	3B	海苔（ノリ）	nu[i（「糊」も同形）. 苔には特に言葉ナシ.
205	3	3B	墓（ハカ）	haka[:
206	3	3B	刷毛（ハケ）	<n>hake[:
207	3	3B	恥（ハジ）	hazI[:. 遠慮は[jiN]zjo (OK).
208	3	3B	花（ハナ）	hana[:
209	3	3B	腹（ハラ）	wata[:（腹も腸も, また綿も）. Cf. [jiN]gabara <男腹>（父方の親戚）, [wuna]gubara <女腹>（母方の親戚）

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
210	3	3B	晴れ（ハレ）	<m>harI[:（天気のみ）. Cf. harE[:（お祓い）.
211	3	3B	節（フシ）	busI[: (OK)（竹や砂糖黍の）. 人体には言わず, [CIgE:と言う. また, [CIgE:]CIgE（体の節々）.
212	3	3B	幕（マク）	<m?>ma:[ku
213	3	3B	股（マタ）	mata[:
214	3	3B	豆（マメ）	mamI[:（腎臓もさす）
215	3	3B	耳（ミミ）	mi[N
216	3	3B	物（モノ）	mu[N 物一般の他に, 特に食べ物をさす. kaNmu[N <噛み物> とも.
217	3	3B	山（ヤマ）	jama[:
218	3	3B	弓（ユミ）	jumi[:
219	3	3B	夢（ユメ）	’imI[: <イメ>
220	3	3B	腋（ワキ）	waki[:
221	3	3B	枠（ワク）	x
222	3	3B	綿（ワタ）	wata[:（腹の意も）
223	3	3C	瓶（カメ）	ka:[mI. その種類としてmIzIga:[mI（水瓶）, misjuga:[mI（味噌瓶）, [taisjoga:]mI（大正瓶）, nahaN[ga:]mI（那覇瓶）など. 酒甕はない.
224	3	3C	蚤（ノミ）	nu:[mi
225	3	3C	浜（ハマ）	ha:[ma
226	3	3X	鍵（カギ）	kagi[:, sjI[N <栓>
227	3	3X	熊（クマ）	x イナイ.
228	3	3X	恋（コイ）	x
229	3	3X	土（ツチ）	Ncja[: <ミタ>
230	3	3X	鉢（ハチ）	ha:[cI
231	3	3X	脂（ヤニ）	tIju:[zI
232	3	3X	闇（ヤミ）	[jujaN <夜闇>
233	4	4A	何時（イツ）	[’icI:
234	4	4A	隅（スミ）	[sImi:
235	4	4B	粟（アワ）	[’o:
236	4	4B	板（イタ）	’icja[:
237	4	4B	稲（イネ）	’inI[:
238	4	4B	瓜（ウリ）	ki:u[i <黄瓜> など
239	4	4B	笠（カサ）	kasja[:（笠も傘も. 今は傘の意の方が普通）, daNga[sja: <蘭傘>
240	4	4B	糟（カス）	x
241	4	4B	数（カズ）	x [’wI:bIwui [sjuN <指折りする>など
242	4	4B	肩（カタ）	kata[:
243	4	4B	角（カド）	[sImi: <隅>か. ただし,「角を立てるな」などの時はkadu[:, kazju[: と言うかもしれないと.
244	4	4B	絹（キヌ）	[Kinu:
245	4	4B	錐（キリ）	’irI[:

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
246	4	4B	鞘（サヤ）	sI[: <（刀の）巣？>
247	4	4B	汁（シル）	sIru[:
248	4	4B	銭（ゼニ）	zjI[N. 今は[kanI: <金>.
249	4	4B	外（ソト）	sjutu[:
250	4	4B	側（ソバ）	sjuba[:, ['aN]zja
251	4	4B	種（タネ）	tanI[:（陰茎をさすことはない）
252	4	4B	咎（トガ）	kazju[: <廉？>, [CI:]mi. Cf. tuga[:は担桶（タゴ）.
253	4	4B	苗（ナエ）	na[i
254	4	4B	鑿（ノミ）	numi[:
255	4	4B	肌（ハダ）	[du: <胴>. 体全体をもさす.
256	4	4B	味噌（ミソ）	misju[:
257	4	4B	蓑（ミノ）	mjo[: (OK)
258	4	4B	麦（ムギ）	mugi[:
259	4	4B	罠（ワナ）	wana[:
260	4	4B	藁（ワラ）	wara[:
261	4	4C	跡（アト）	['a:]tu. 'atuCI:[gi <後継ぎ>.「足跡」は特に[CIma:.
262	4	4C	息（イキ）	['i:]ki
263	4	4C	糸（イト）	'icju[:
264	4	4C	臼（ウス）	['u:]sI
265	4	4C	海（ウミ）	['uN
266	4	4C	帯（オビ）	['u:]bi 女性用太鼓帯など（桶のタガにも言う）. 別に男性用の細い腰紐に[Kju:]bIがある.
267	4	4C	上（カミ）	ka:[mi
268	4	4C	管（クダ）	[Ku:]da
269	4	4C	筋（スジ）	sI:[zI（青筋の意も）
270	4	4C	空（ソラ）	[tIN <天>. sju:[raは「梢」を表わす. 先端は[hana:, kIN[hana:（木の先端）, 頂上は[CIzI:.
271	4	4C	乳（チチ）	[CI: <チ>
272	4	4C	槌（ツチ）	[CI:]cI（鑿などを叩く小型のもの）. 大型のはwarawai[CI:]cI.
273	4	4C	罪（ツミ）	[CI:]mi
274	4	4C	中（ナカ）	[na:
275	4	4C	何（ナニ）	[nu:
276	4	4C	箸（ハシ）	[Mja:]sI <御箸（オミハシ）>
277	4	4C	針（ハリ）	ha[i（縫い針の他に, 家を葺くときに使う竹製・木製の刺し針も）
278	4	4C	舟（フネ）	hu:[nI（骨と同音）
279	4	4C	紅（ベニ）	x
280	4	4C	篦（ヘラ）	FI:[ra（砂糖を炊くときにまぜるための道具）
281	4	4C	松（マツ）	ma:[cI. Cf. macIna:[ba（松茸）.
282	4	4C	宿（ヤド）	<m>ja:[du（戸と同形で, 戸の意で使う方が普通）
283	4	4X	鎌（カマ）	kama[:

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
284	5	5A	鶴（ツル）	[CIru:（たまに渡って来ることもある）
285	5	5B	藍（アイ）	’a[i. Cf. ’aizI[ru:]sI <藍印>（蒙古斑）.
286	5	5B	青（アオ）	’ao’i[ru: <青色>. 色名は「青」,「赤」などと単独では不使.「赤土」,「赤身」など接頭辞的に用いる. 他も同じ.
287	5	5B	汗（アセ）	’asjI[:
288	5	5B	雨（アメ）	’amI[:
289	5	5B	黍（キビ）	x ナシ. あるいはto:gi[Nが当たるが？トウモロコシはto:to[giN.
290	5	5B	黒（クロ）	Kuru’i[ru: <黒色>
291	5	5B	鯉（コイ）	<n>ko[i
292	5	5B	白（シロ）	sIru’i[ru: <白色>
293	5	5B	鮒（フナ）	huna[:
294	5	5B	眉（マユ）	maju[:. なお, 猫は[maju:.
295	5	5B	腿（モモ）	mumu[:
296	5	5C	桶（オケ）	[wI:
297	5	5C	蔭（カゲ）	ka:[ta.「影」はka:[gI.
298	5	5C	蜘蛛（クモ）	maNgu:[hu
299	5	5C	声（コエ）	ku[i
300	5	5C	猿（サル）	sja:[ruイナイ. 十二支の「申」で使う.
301	5	5C	鍋（ナベ）	na:[bI. [hu:na:]bI（大鍋）
302	5	5C	前（マエ）	[mE:
303	5	5C	婿（ムコ）	[muk]Kwa <ムコラ？>
304	5	5X	秋（アキ）	<n>[’a:]ki（収穫（期）には言わない）. Cf. [mi:]huju <新冬>（9月ごろ. 日常語にあらず）.
305	5	5X	虻（アブ）	[tabu: (OK)か？
306	5	5X	常（ツネ）	[’icIN]ba（いつもの意. 普通や当たり前の意にあらず）
307	5	5X	春（ハル）	<n>ha:[ru. Cf. ’urIzI[N, ’urIzIN[gu:]sja（春の草）, ’urIzIN[gwa (OK)（鶏の雛）.
308	5	5X	窓（マド）	x 昔はなかった. 入り口の意の[zjo: <錠（ヂャウ）？>が相当か. なお, 空き時間, 暇の意はmadu[: <間遠？>.
309	5	xA	赤（アカ）	[ha:]’iru <赤色>
310	2	xA	あれ（アレ）	[’arI:
311	x	xA	上（ウエ）	[’wI:
312	x	xA	内（ウチ）	[na: <中>
313	2	xA	方（カタ）	x [kuNho:（こっちの方）など, -ho:. また, [kuNCju:（この人）, [kuNmuN（この者, こいつ）, ka[N（こちらへ. 数年前からこの方）.
314	2	xA	牙（キバ）	[Ki:]ba
315	2	xA	鞍（クラ）	[Kura:
316	1	xA	鷺（サギ）	[sja:]gi
317	x	xA	下（シタ）	[sju:. ただし, [’wIs]sja <上下>, tIs[sja <手下>.
318	2	xA	次（ツギ）	[CIgi:（より悪いことの意はなし）

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
319	x	xA	供（トモ）	x
320	2	xA	虹（ニジ）	[no:]zI <ノジ>
321	2	xA	人（ヒト）	[Cju:（OK）
322	3	xA	房（フサ）	x 芭蕉の房はhukumo[i.
323	5	xA	蛇（ヘビ）	すべて個別的に分けて言い，総称はナシ．'aonu:[zja（青大将），mattE:[hu（縞蛇），kwa:zja[ro:（まむし），garasI['u:]bu（烏蛇）など．なお，干支の「巳」は[mi:.
324	3	xA	姪（メイ）	mIk[Kwa
325	5	xB	牡蠣（カキ）	x ナシ．
326	3	xB	神（カミ）	kami[:
327	x	xB	亀（カメ）	kamI[:
328	4	xB	桁（ケタ）	kIta[:（屋根の）．数字の位取りは不明．橋の桁はナシ．ただ木を横たえるだけ．
329	4	xB	下駄（ゲタ）	'aNzja[: <足駄>. 'aNzja[sja:]ba（履き物の意．[sjaba:は草鞋）
330	5	xB	琴（コト）	<n>koto[:. 普通は[sjami:]sjIN <三味線>をひく．
331	3	xB	太刀（タチ）	kata:[na <刀>
332	5	xB	縦（タテ）	tatI[:. 普通はtatIju:[ku <縦横>で．
333	3	xB	谷（タニ）	mata[: <股>. sjaku[: <サコ>
334	1	xB	筒（ツツ）	[CIcI:
335	3	xB	熨斗（ノシ）	x 熨斗紙はnosIga:[mi.
336	5	xB	繭（マユ）	mINma[ju:. mIN[maju: <目の眉>
337	x	xB	夜（ヨル）	juru[:
338	2	xB	技（ワザ）	wazja[:.「業」ならx.
339	2	xC	串（クシ）	gu:[sI (OK)
340	3	xC	桑（クワ）	[Kwa:]gI <桑木>
341	x	xC	蛸（タコ）	to[:
342	5	xC	足袋（タビ）	<n?>ta:[bi（昔履いたかよく分からない）
343	5	xC	露（ツユ）	[CI:]ju
344	4	xC	主（ヌシ）	nu:[sI（所有者の意），['usINnu:]sI（牛の持ち主）
345	3	xC	孫（マゴ）	[Ma:]ga <ウマゴ？>
346	3	xC	鞠（マリ）	ma:[ru (OK)
347	x	xC	元（モト）	sjuba[: <側>などか
348	x	xC	本（モト）	mu:[tu（以前の意）
349	2	xC	故（ユエ）	x
350	3	xX	麻（アサ）	x ナシ．
351	5	xX	朝（アサ）	sItumI:[tI（早朝），sIka:[ma
352	x	xX	今（イマ）	[na:
353	x	xX	沖（オキ）	'uki[:
354	x	xX	奥（オク）	[na: <中>
355	4	xX	櫂（カイ）	x ナシ．

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
356	x	xX	鴨（カモ）	[kamo:
357	4	xX	今日（キョウ）	[kju:
358	1	xX	胡麻（ゴマ）	x
359	3	xX	霜（シモ）	sImo[:（ごく稀に降りる）
360	4	xX	父（チチ）	['a:]zja. より新しい形に[CjaNがある.
361	1	xX	何処（ドコ）	[da:
362	x	xX	鳩（ハト）	hatu[:
363	5	xX	蛭（ヒル）	bi:[ru (OK)（体の弱い人にも言う）
364	4	xX	他（ホカ）	huka[:
365	4	xX	我（ワレ）	wa[N <ワヌ>
366		1A	味（アジ）	['azI:
367		1A	荒れ（アレ）	['arI:
368		1A	行き（イキ）	['iki:, ['iki:]mudui <行き戻り>
369		1A	俺（オラ）	wa[N. Cf. ['ui（あなた）, ['ja:（おまえ）.
370		1A	欠け（カケ）	kE:ra[: <カケラ>, cjawaNnu[kE:]ra（茶碗の欠けら）
371		1A	臭（カザ）	[kazja:（良, 悪ともに）. Cf. [kaba:]haN（香ばしい）, kusja:[haN（臭い）.
372		1A	洞（ガマ）	['jo: <イオ>, <m>[gama:（海のものをさすか）
373		1A	彼（カレ）	['arI:
374		1A	叉手（サデ）	x（さで網はナシ. tanaga['a:]miタナガ網はある）
375		1A	代（シロ）	nussju[:（苗代）. 飲み代は言わず, [kawai <代わり>, [dE:]mu（代金, 値段）.
376		1A	砂（スナ）	[sIna:
377		1A	辻（ツジ）	'azjI[:（道の交差した所）. Cf. 旋毛は[maCI:]zI, 頂上は[CIzI:, jamaN[CI:]zI.
378		1A	刀自（トジ）	[tuzI:
379		1A	苫（トマ）	x
380		1A	並（ナミ）	[Cju:]nami <人並み>ぐらい.「上中並み」では不使.
381		1A	棘（ノギ）	[NgI:（バラの）, ['juNNgI:（魚の小骨）, [sjaN]kE（板の）
382		1A	幅（ハバ）	[haba:
383		1A	張り（ハリ）	[harI:. ただし, ja:du[hai（戸板を釘でとめる）, <n>[sjo:zIhai（障子貼り）.
384		1A	腫れ（ハレ）	[harI:（～が引く）
385		1A	大蒜（ヒル）	[FIru:（主に葉の方）, [FIruNgabu:（根の方）
386		1A	負け（マケ）	[makI:. [makI:]'usI（闘牛で負けた牛）
387		1A	増し（マシ）	x（増加も, よりマシの意でも不使）
388		1A	餅（モチ）	mucI[:, muccI[:, sIrumu[cI: <白餅>, [ha:]mucI <赤餅>, guNzja[muccI: <鯨餅>など
389		1A	野巫（ヤブ）	x 藪医者はjama[:（山と同形）と言う. 鍼治療はha[i.
390		1A	割れ（ワレ）	[warI:（茶碗の）, [warI:]muN <割れ物>, [sIwa:]rI <干割れ>（地割れ）

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
391		1C	棒（ボウ）	[bo:
392		1X	胞衣（エナ）	['ja:（動物について言う）
393		1X	黴（カビ）	kabi[:
394		1X	梅雨（ツユ）	nagamI[: <長雨>
395		1X	溝（ミゾ）	mi:[zju
396		1X	斧（ヨキ）	ju:[ki, [hu:ju:]ki（大斧）, katadI[ju:]ki（片手斧, 小型）. Cf. Cjo:no[:（手斧）, [CI:]cI（槌）, [kana:]zIcI（金槌）
397		2A	上顎（アギ）	['agi:（魚のエラの意）. 人でも['agi:]hana（口と鼻の奥の喉）は言う.
398		2A	陸（アゲ）	['agi:（子供服の裾上げ）. 陸地の意は聞いたことがありはする.
399		2A	仇（アダ）	kataki[:, <n>te:[ki <敵>
400		2A	粗（アラ）	['ara:（米の中に混じった小石）. Cf. <n>['a:]raは良い意味で目立つ存在を言う.
401		2A	嬰（エイ）	x [hak]Kwa <赤子>, [ha:warENgwa: <赤童子>
402		2A	潟（カタ）	'ino[:（埋め立て地には言わない）
403		2A	癖（クセ）	[kusjI:
404		2A	卓（ショク）	[haN]dai <飯台>か
405		2A	天（テン）	[tIN <天>. sju:[raは「梢」を表わす.
406		2A	十（トウ）	[tu:
407		2A	詫び（ワビ）	<m>wabi[:（～を入れる）. <n>ko:sja[N <降参>. Cf. [mi]N（タンマ！＝待った）.
408		2X	得手（エテ）	x
409		2X	艫（トモ）	<m>tomo[:
410		2X	跳ね（ハネ）	<m>hanI[:, 水の跳ねなら[CIp]Paと言う.
411		3A	実（サネ）	tanI[:. 名字なら[sja:]neがある. 陰核と喉彦はCIno:[giと言う.
412		3A	鹿（シカ）	sIKa[: イナイ.
413		3A	淵（フチ）	[koNbucI: <川の淵>. [bucI:は土手の意. 急な深みは['ata:]hukaiと言う. 浅瀬は'ino[:.
414		3B	踵（アド）	'adu[:
415		3B	飯（イイ）	'uba[N, mi:[sI
416		3B	忌み（イミ）	x
417		3B	浦（ウラ）	x Cf. 裏は'ura[:.
418		3B	襟（エリ）	x（[Kui <首>と言うかもしれないが, はっきりしない）
419		3B	賭け（カケ）	kakI[:（指切り約束）, <m>kakE[:（物を掛けること）
420		3B	切れ（キレ）	KirI[:. Cf. CIbamu[N, dEkEmu[N（切れ者, でき者）, sIpPo[:（切れない刃）, sIpPo[gata:]na（切れない包丁）.
421		3B	熱病（クサ）	kusja[:（フィラリア）, kusjaja[mi:（フィラリア患い）
422		3B	怪我（ケガ）	kIga[:
423		3B	粉（コナ）	ku[:, kuna[:
424		3B	迫（サコ）	sjaku[:（谷間）, mata[:とも. dEN[sjaku:という地名あり.
425		3B	椎（シイ）	sI[:, sI:[gI <椎木>, sI:nu[mi: <椎の実>

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
426		3B	軸（ジク）	<m>zIku[:. sI[N <芯>か.
427		3B	宍（シシ）	sIsI[:（四つ足の肉）, [masI:]sI（赤肉）, ['usI:]sI（牛肉）, ['wa:]sI（豚肉）(OK), jamasI[:（猪そのもの）, hasI:[sI（歯肉, 歯茎）
428		3B	質（シチ）	x（シツもx）. Cf. sIcI:[ja（質屋）は新しい.
429		3B	渋（シブ）	sI:[bu（芭蕉の根から出る）
430		3B	縞（シマ）	x
431		3B	好き（スキ）	sIki[:
432		3B	出汁（ダシ）	dasI[:
433		3B	唾（ツヅ）	<o>CIdu[:, CIba[:. Cf. [judai（涎）.
434		3B	唾（ツバ）	<o>CIdu[:, CIba[:. Cf. sIba[:（舌）, Kuru:[sI]ba（水泳後の黒唇）, ['wa:]sIba（上唇）, [sja:]sIba（下唇）, 唇は[kucI: <口>.
435		3B	手間（テマ）	tIma[:（手間賃も）, tImatu[i（手間取り）, tIma:[FI]ma（手間隙）
436		3B	泥（ドロ）	duru[:
437		3B	慣れ（ナレ）	narE[: <習い？>. Cf. ja:na[rE:（家での躾）, [Kiki:]narE（聞き習い）.
438		3B	肉（ニク）	x Cf. [mi: <身>（人体の肉, 魚肉, 鶏肉）.
439		3B	糊（ノリ）	nu[i
440		3B	映え（ハエ）	x Cf. ju:tI:[da（夕映え）, FE[:（南）, FEN[ka:]zjI（南風）.
441		3B	果て（ハテ）	x Cf. [sI:hatEjuN（やり終える）, [hatEjuN（足を広げる, また, 角（つの）の形が広がっている意）.
442		3B	原（ハル）	haru[:（農耕地でも原野でも）
443		3B	尋（ヒロ）	<m>[sIru:か. [Cju:sIru(:]gi), [Ta:]sIru(gi), [misI:]ru(gi)（一尋, 二尋, …）と数える（括弧内は省略可）. 幅を計ることをsIrugju[Nと言う.
444		3B	下手（ヘタ）	tIbo[: <手棒？>, sIzjai[tIbo:（左利き）
445		3B	魔羅（マラ）	mara[:. Cf. [KiN]tama.
446		3B	蜷（ミナ）	mja[:（総称で, 巻き貝も二枚貝もまとめて）
447		3B	厄（ヤク）	jaku[:
448		3B	欲（ヨク）	jiku[:
449		3B	腸（ワタ）	wata[:（腹も腸も, また綿も）
450		3C	脛（ハギ）	sInI[:（机の足には言葉がない）. Cf. kuNba[:（脹ら脛, 腓）.
451	3	3C	骨（ホネ）	hu:[nI
452		3O	虚（ウロ）	x（木にも言わない）
453		3O	蛙（ビキ）	['e:ta:]ra
454		3X	荻（オギ）	wugi[:（砂糖黍の意）
455		3X	鉤（カギ）	gagi[: (OK)（引っ掛けるカギ）, zIzjE[:（自在鉤）
456		3X	肥（コエ）	[KwE:, biNgwE[: (OK)<便肥>（大小便の）, <n>KujasI[: <肥やし>
457		3X	芥塵（ゴミ）	gumi[:, gumi'a:[ku]ta
458		3X	錠（ジョウ）	sjI[N <栓>. [zjo:は入り口の意.
459		3X	縁（ヘリ）	['aN]zja（端）, ['o:sI: <合わせ>（畳の縫ってあるヘリ）
460		4A	只（タダ）	[tada:
461		4B	縁（エン）	ji[N（人の縁）. Cf. [jiN]cja <縁板>（縁側の板）.

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
462		4B	筬（オサ）	husja[: (OK)
463		4B	斧（オノ）	ju:[ki
464		4B	茅（カヤ）	guja[: (OK)
465		4B	衣（キヌ）	[ko:（布）. Cf. Ki[N（着物）. ただし, 破れ布はjarIgo[:ともjarIgi[Nとも.
466		4B	去年（コゾ）	kuzju[:. Cf. ja:[nI（来年）.
467		4B	地震（ナイ）	na[i
468		4C	地爐（ジロ）	zI:[ru
469		4C	胴（ドウ）	[du:（自分の意も）, dutE[: <胴体>はhuNdu[:（本体）とも言う. なお, 内臓全体はdo:sja:[ku <造作>と言う.
470		4C	茸（ナバ）	na:[ba（椎茸が普通）, dukuna:[ba（毒茸）, macIna:[ba（松茸, 種類が違うが）, miNgu[i（木くらげ）. Cf. kabi[:（黴）, 'ikkI[:（鱗, 白癬）, ['a:（垢）.
471		4C	喉（ノド）	nudI[:
472		4C	早や（ハヤ）	[hE:bE:]tu（早々と）, [mE:（以前）
473		4C	蓬（フツ）	hu:[cI, hucIda:[gu（蓬団子）
474		4X	莢（サヤ）	言えばsjaja[:であろうが, mamIN[ku:（豆の殻）, zImamIN[ku:（地豆＝南京豆の殻）と言う.
475		4X	未だ（マダ）	[Na:hudu:
476		5B	綛（カセ）	kasjI[:（女性が使うものなので, 言葉だけで物はよく知らない）
477		5B	火気（ホケ）	x Cf. [hu:mukikazjI:（熱気）, 'acIkI[:（甑の水蒸気, 火傷するほど熱い）. ヤカンはなかった.
478		5B	訳（ワケ）	wakI[:
479		5C	樋（トイ）	tu[i（竹を半分に割り, 田に水を引いた）. 藁葺きだったので, 雨樋はなかった.
480		5X	棘（イラ）	[NgI:. クラゲはx, 毛虫はmacImo:[sja, ヤゴはtamo:[sja.
481		5X	禿げ（ハゲ）	hagI[:, hagIzI[sjo: <禿地所？>（痩せ地）
482		5X	三毛（ミケ）	<n>[mike:]neko. 猫はKuruma[ju:（黒猫）, sIruma[ju:（白猫）, [mja:guma:]ju（実体不明, mja:guは地名）がある.
483		oA	角叉（ウル）	'uru:（珊瑚のことか. 聞いたことがあるだけ）
484		oA	窪（クボ）	[Kubu:, [Kubu:]batE（低地にある畑）
485		oA	枇榔（コバ）	[Kuba:
486		oA	滓（ゴリ）	zIki[:
487		oA	撓（タワ）	[to:（高いところにある平地）, [to:]batE（高い所にある畑）. 地名に'abukina[do:, [mE]Nto:, 'ussjuN[to:などあり. Cf. [to:mIjuN（デコボコを平らにする）, sIkumI[juN（低くする）.
488		oA	崖（ホキ）	[huki:（高い所からみて）, [haN]ta（下から見上げて）
489		oA	穴（ホゲ）	[hugI:（鍾乳洞, 畑の中にもある, 自然にできたもの）, mI[: <目>は蟹やモグラの小さい穴. 人が掘るのも. ['jo:は人が出入りする横穴. 靴下は穿かなかったが, 穴とは言わず, jarI[:（破れ）. また, [hugIjuN（穴が開く）, [hugasjuN（穴を開ける）という動詞あり.
490		oA	三年（ミト）	[micju:. 一昨年はmicjuna:[tI.

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
491		oA	結い（ユイ）	[jui, juiwa:[ku（アクセントOK）, ta:wa[ku:（田仕事の）, hatEwa:[ku（畑仕事の）, [tIN]waku（母子家庭などへの奉仕作業）, [mja:]waku（集落共同作業）
492		oB	縢（カナ）	kanaku[i（三味線の糸）
493		oB	涅（クリ）	x（黒土でも烏賊の墨袋でも不使）
494		oB	報（ホウ）	hu[:, hu:tarI[Cju:（幸運な人）, hu:tarI[Ma:]rI（幸運な生まれ）, ’uN]ki（運気）, 果報は古謡の中に出るが, kaho[:か？
495		oB	土（ミタ）	Ncja[:, KuruN[cja:（黒土）
496		oB	病み（ヤミ）	jami[:, <n>bjo:ki[:
497		oC	外（アラ）	’aro[:, sjutu[:
498		oC	吾（アレ）	wa[N, [wa:muN
499		oC	香（コウ）	sjI N ko[: <線香>. Cf. kIN[ko:（木の皮）とはアクセントが違う.
500		oC	卵（コガ）	ku:[ga
501		oC	粒（ツヅ）	’amIN[CI:]zI（雨粒）, miCIzI[ga:]mI（三粒の不作）で出るが, 単独では不使. Cf. kumIN[CI:]bu, kumICI:[bu（米粒）, ’ubaN[CI:]bu, misICI:[bu（飯粒）.
502		oX	足し（タシ）	[’ugi:]nE <補い>, kasjI[: <加勢>
503		oX	鞴（フキ）	hu:[ki（ふいご）
504		oX	肺（フク）	hu:[ka (OK)（豚の肺. 空洞になっている）
505		oX	海松（ミル）	x [’o:]sja（アオサ）ぐらい.
506		xA	字（アザ）	<m>[’azja:, 一般にはsIma[: <島>.
507		xA	当て（アテ）	[’atI:（～にする）, [’atI:] nI[N（知らないの意）
508		xA	穴（アボ）	x Cf. ’anagu[:（トコブシ）.
509		xA	氏（ウジ）	x
510		xA	雲丹（ウニ）	gacI:[cI（食べる習慣がなかった）
511		xA	崖（ガケ）	x
512		xA	舵（カジ）	[kazI:（方向転換の意で, 車の運転にも）. Cf. [’aN]sja（船の暗車）.
513		xA	空（カラ）	[na:]muN（空っぽ）, <n>[kara:]gwIN（空瓶）
514		xA	逆（サカ）	[sja:]sIma, [sja:]mata（逆様）
515		xA	世話（セワ）	sjIwa[:（心配の意）.「世話」の意味ではsjE:ba:[cI <征伐？>.
516		xA	膳（ゼン）	[zjIN
517		xA	蕎麦（ソバ）	x なかった.
518		xA	荼毘（ダビ）	x 葬式は[tuN]bE <弔い>, [hui <放り？>.
519		xA	貫き（ヌキ）	[nuki:（柱の横棒）. 糸は[juku:]’iCju（横糸）は言うが, [nuki:]’iCju（ぬき糸）と言うか？
520		xA	薔薇（バラ）	<n>[ba:]ra, 植物の刺は[NgI:.
521		xA	坂（ヒラ）	[sIra:. tacIbi[ra:（急な坂, 男坂）, [jo:]sIra（女坂）. Cf. [jo:]magai（緩い曲がり）.
522		xA	樅（モミ）	x バンシロウはbaNsI[ro:. Cf. [mumi:（籾）.
523		xA	諸（モロ）	mu:[ru
524		xB	顎（アゴ）	’utugE[:. Cf. [’a:]gu（仲間, 組）.

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
525		xB	畦（アゼ）	’abu:[sI. Cf.’azjI[:（四つ角）.
526		xB	渦（ウズ）	’uzI[:
527		xB	徒歩（カチ）	’akki[: <歩き>
528		xB	籤（クジ）	<n>KuzI[: 元はナシ.
529		xB	葛（クズ）	KuzI[:. 葛粉はナシ.
530		xB	庫裏（クリ）	[kuzja:（小部屋）
531		xB	沙汰（サタ）	<m>sjata[:（噂の意）. sjatasjI[:（（呼びに行く代わりに）噂をしろ.（するとその人がやって来るから））.
532		xB	白湯（サユ）	<m>sjaju[:. ju[: が普通.
533		xB	直ぐ（スグ）	[sIguN
534		xB	箍（タガ）	[’u:]bi <帯>
535		xB	凧（タコ）	<n>tako[:
536		xB	束（タバ）	[taba:
537		xB	萵苣（チシャ）	to:na[: <唐菜>
538		xB	灘（ナダ）	x
539		xB	生（ナマ）	nama[:, namamu[N, namami[sju:（生味噌）, namagu[mI:（生米）, namahaN[zIN（生芋）, namazI[ma:]mI（生地豆, 生落花生）. 魚, 肉, 麦, そら豆には言わない.
540		xB	枌（ヘギ）	x
541		xB	矛（ホコ）	x
542		xB	鞭（ムチ）	bu:[cI (OK)（牛追い用の細長い竹）
543		xB	酔い（ヨイ）	ju[i, juimu[N（酔っ払い）
544		xC	菓子（カシ）	maNzjo[: <饅頭>
545		xC	甲羸（カセ）	gacI:[cI（ウニを食べる習慣がなかった）
546		xC	瘤（コブ）	gahu[: (OK)
547		xC	雑魚（ザコ）	zjako[:（煮干しのこと）
548		xC	差し（サシ）	sjasI[:（差すこと）. Cf. [sjasI:（植物名）.
549		xC	獅子（シシ）	x
550		xC	煤（スス）	[FIN]go（OK）
551		xC	确（ソネ）	[sjunI:（海の中にある盛り上がった山をさすか）, jamaN[CI:]zI（山の頂上, 尾根）
552		xC	樽（タル）	ta:[ru
553		xC	猫（ネコ）	[maju:
554		xC	襞（ヒダ）	sI:[zja（服も皮膚も）
555		xC	最後（ビリ）	ma[i（尻）
556		xC	盆（ボン）	[buN（～と正月, 入れ物も）
557		xC	肉刺（マメ）	sINma[mI:（芯のある豆）
558		xC	山羊（ヤギ）	ja:[gi イル. jagizI[ru:（山羊汁）
559		xC	椰子（ヤシ）	x ナシ.
560		xO	儘（ママ）	’uNma:]ma（そのまま）, kada[N]ma:]ma（アクセントOK）（食べたまま）, ’izjaNma:]ma（行ったまま）

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
561		xX	樫（カシ）	ka:[zI]gI（ドングリか？）
562		xX	独楽（コマ）	dE:gu[ru:]ma
563		xX	岳（タケ）	単独 tE[:は丈の意のみ. 固有名詞の中でのみ, ’amIki[dE:（天城岳）, [MaNKuradE:（馬鞍岳）, ’ino:[dE:（井之川岳）, hagIdE[: <禿岳>（木なし）, ’iNtabu[dE:（犬田布岳）, hjakuN[dE:（百之台）など.
564		xX	性質（タチ）	[tacI:（悪い意味で）
565		xX	苞（ツト）	cItu[:（持ち帰りのお土産）
566	4	xX	粒（ツブ）	[CIbu:（指圧のツボやつぼみも同形）
567		xX	錘（ツミ）	x
568		xX	どれ（ドレ）	dI[N
569		xX	翅（バネ）	[hanI:, [ha:]banI（赤羽根）, Kuruba[nI:（黒羽根）, sIruba[nI:（白羽根）. 単独でbanI:とは言わない.
570		xX	枇杷（ビワ）	biwa[:
571		xX	法螺（ホラ）	bu:[ra (OK)
572		xX	先ず（マズ）	ma:[zI
573		xX	稀（マレ）	[manI:]kanI
574		xX	若し（モシ）	mu:[sI
575		xX	よく	[ju:（「よく来たね」など）
576		xX	由（ヨシ）	x
577		xX	鷲（ワシ）	<m>[wasI:か？イナイ.
578	1	1N	丘（オカ）	x 言えば[mui <盛>.
579	1	1N	蚊帳（カヤ）	[kacja: <カチャウ>
580	1	1N	雉（キジ）	[Ki:]zI イナイ.
581	1	1N	暮れ（クレ）	[KwI:, jukKwI[: <夕暮れ>
582	1	1N	篭手（コテ）	x
583	1	1N	駒（コマ）	[Ma: <馬>. 独楽ならdE:gu[ru:]ma.
584	1	1N	薦（コモ）	mus[sju <蓆>
585	1	1N	笹（ササ）	x ナシ.
586	1	1N	芝（シバ）	[sIba:, [sIba:]kusja <芝草>
587	1	1N	其れ（ソレ）	’urI:
588	1	1N	蓼（タデ）	[tadI:
589	1	1N	友（トモ）	[dusI: <同志>
590	1	1N	蓮（ハス）	x ナシ.
591	1	1N	菱（ヒシ）	x
592	1	1N	紐（ヒモ）	jiru[:, CIna[:
593	1	1N	鰭（ヒレ）	x
594	1	1N	藪（ヤブ）	x 竹藪を[dE:]jamaと言うからjama[:か.
595	2	2N	鯵（アジ）	x イナイ.
596	2	2N	栗毬（イガ）	x ナシ.
597	2	2N	門（カド）	[kadu:]gucI <門口>

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
598	2	2N	北（キタ）	[nIsI:
599	2	2N	塚（ツカ）	x
600	2	2N	妻（ツマ）	[tuzI: <刀自>
601	2	2N	梨（ナシ）	<n>na:[sI
602	2	2N	姫（ヒメ）	x イナイ.
603	2	2N	文（フミ）	zjo[: <状>
604	2	2N	八重（ヤエ）	x「八重歯」はja:[zI]ba.
605	3	3N	家（イエ）	ja[: <屋>
606	3	3N	髪（カミ）	kara:[zI]N %kI: <頭の毛>
607	3	3N	栗（クリ）	x ナシ.
608	3	3N	苔（コケ）	kabu[i.「カビ」も同じ.
609	3	3N	尻（シリ）	ma[i <マリ>
610	3	3N	鮨（スシ）	x ナシ.
611	3	xN	芹（セリ）	x ナシ.
612	3	3N	鯛（タイ）	<m>[tainu'ju: <鯛の魚>
613	3	3N	柄（ツカ）	[ji: <え>
614	3	3N	弟子（デシ）	x Cf. cIkEbo[: <使い坊（バウ）>は下人の意.
615	3	3N	塔（トウ）	x なお, 高台のことを[to:と言う.
616	3	3N	後（ノチ）	['a:]tu（時間的に）
617	3	3N	萩（ハギ）	x ナシ.
618	3	3N	皺（ヒビ）	x
619	3	3N	縁（フチ）	['aN]zja. Cf. bucI[:は田畑の区切りを示す土盛りの意.
620	3	3N	堀（ホリ）	x ナシ. なお, 切り通しはhui[Ki]rI <堀切>.
621	3	3N	店（ミセ）	misjI[:
622	3	3N	室（ムロ）	x ナシ.
623	3	3N	指（ユビ）	['wI:]bI <オヨビ>. 'uja'wI:[bI（親指）, [Cju:nuki'wI:]bI<人貫き指>（人差し指）, na:'wI:[bI（中指）, [Kwa:'wIbIgwa:（小指）. <n>[Kusuri'wI:]bI（薬指）
624	3	3N	脇（ワキ）	['aN]zja
625	3	3N	鰐（ワニ）	x イナイ.
626	4	4N	尼（アマ）	x ただし, 母を意味する['a:]maはある.
627	4	4N	市（イチ）	x ナシ.
628	4	4N	杵（キネ）	棒状の手杵は'azI[N, 丁字形のは[CI:]cI.
629	4	4N	屑（クズ）	['a:]kuta <芥>, gumi'a:[ku]ta
630	4	4N	今朝（ケサ）	sItumI:[tI <つとめて>（早朝）など
631	4	4N	杖（ツエ）	busja[N
632	4	4N	鍔（ツバ）	x
633	5	5N	兄（アニ）	[mI: (OK)
634	5	5N	鮎（アユ）	x イナイ.
635	5	5N	井戸（イド）	[CIN]gjo

ID	類（金田一の類）	類（日琉語類別語彙）	同源語ラベル	浅間方言
636	5	5N	鮭（サケ）	x
637	5	5N	鱧（ハモ）	x
638	x	xN	此処（ココ）	[kuma:
639	x	xN	其処（ソコ）	['uma:
640	x	xN	程（ホド）	単独ではなく, -sIko:など.
641	x	xN	許（モト）	nIgu[i <根杭>根もと, 喧嘩の原因など